

なぜ今、在宅医療か

～考えてみませんか、これからのこと～

平成30年度吹田市地域医療推進市民講演会

平成30年(2018年)7月14日(土)

吹田市健康医療部地域医療推進室

本日のテーマ

1 なぜ今、在宅医療か

(1) 吹田市の将来推計から

(2) 市民の思い・希望から

2 考えてみませんか、これからのこと

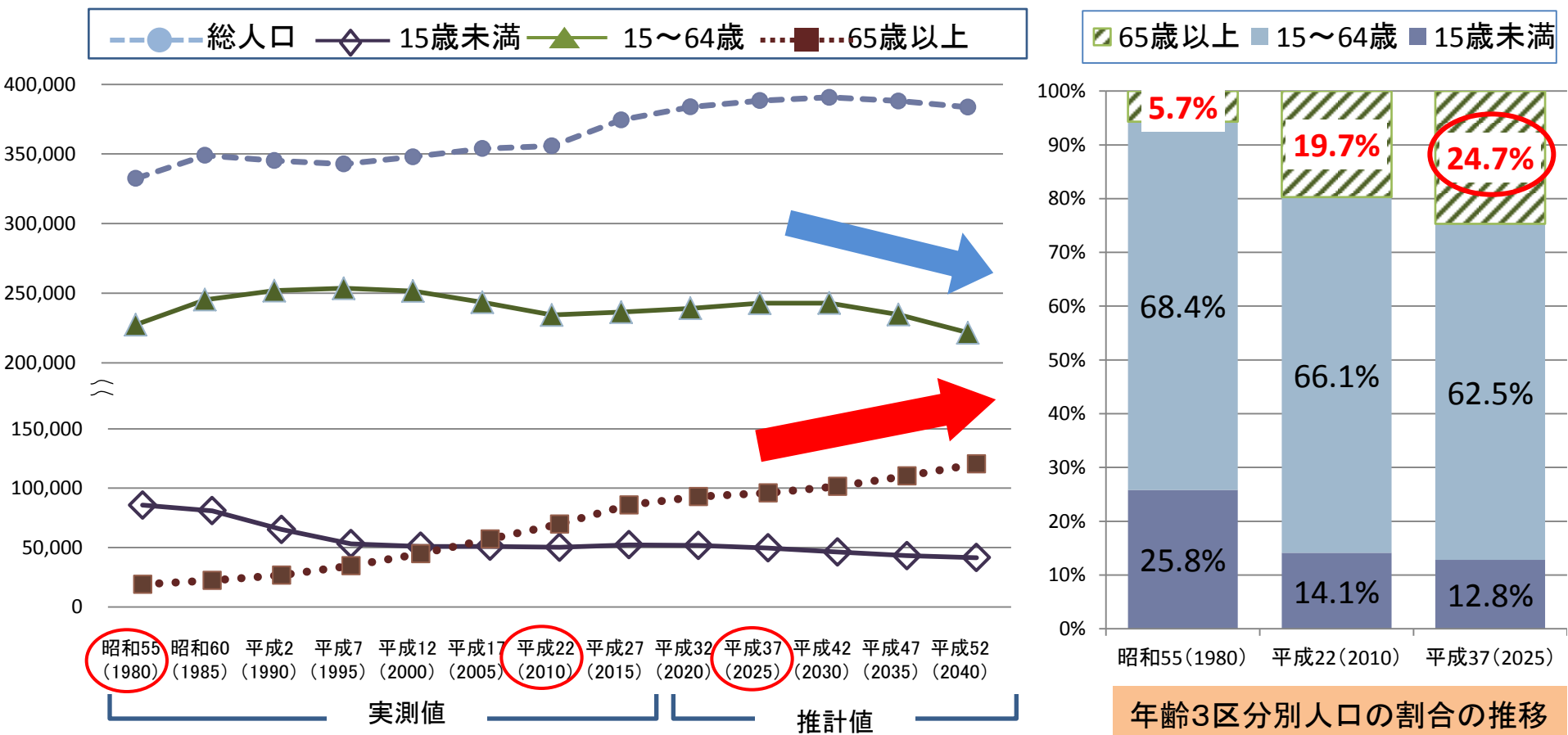
1 なぜ今、在宅医療か

(1) 吹田市の将来推計から

吹田市の人口と高齢化率は？

- 当面、人口増加が続き、2030年をピークに減少が始まると見込まれている。
- 2000年以降、本市の生産年齢人口(15～64歳)は減少しはじめている。

○ **2025年には老年人口(65歳以上)が約25%を占めることになる。**

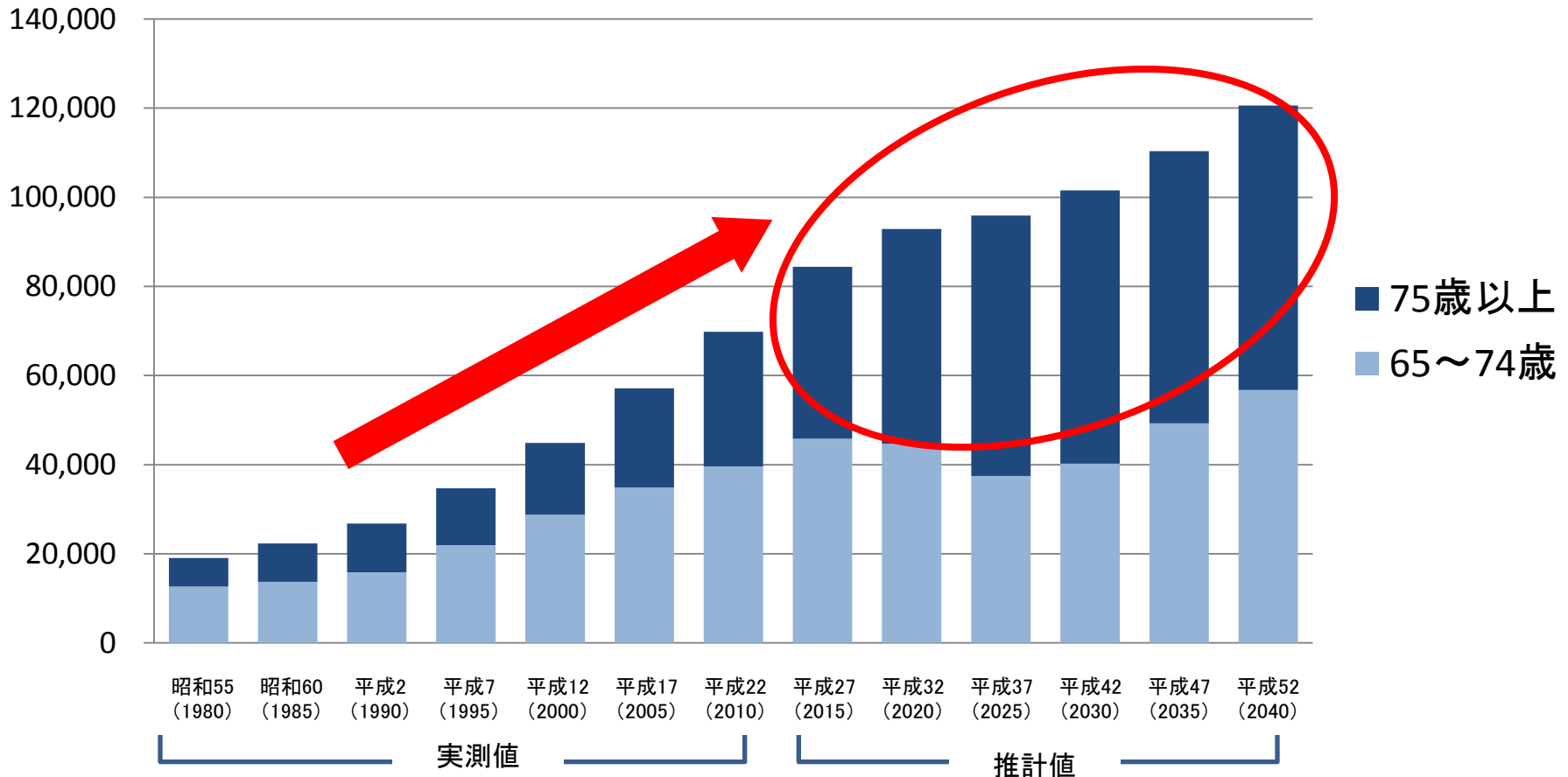


年齢3区分別人口の推移

推計値は、吹田市第4次総合計画策定に係る人口推計について(案) (平成30年1月25日時点)より

特に増えていくのは？

○ 65歳以上人口のうち、**特に、医療・介護の必要度が増す75歳以上人口が増加していくと見込**まれている。




65歳以上人口の推移

推計値は、吹田市第4次総合計画策定に係る人口推計について（案）
（平成30年1月25日時点）より

高齢者が増えるということは？

高齢者の病気の特徴

- 慢性疾患が多い
 - 複数の疾病を抱えることが多い
 - 個人差が大きい
- など

- 
- 医療・介護ニーズの増加、多様化
 - 通院が困難な方も増える



在宅医療の需要が増加する

吹田市の在宅医療等の需要は？

○2025年に**在宅医療は1.7倍必要**になる

【訪問診療の需要見込み】

平成25年 (2013年)	平成37年 (2025年)
2,685 人/日	4,642 人/日

1.7倍

第7次大阪府医療計画における
吹田市の訪問診療の医療需要より

1 なぜ今、在宅医療か

(2)市民の思い・希望から

Q. あなたが長期の治療・療養が必要となった場合、
自宅での療養を希望しますか。
また、それは可能だと思いますか。

※医療に関する市民アンケート調査(H28年度実施)

1. 自宅での療養を希望し、その実現は可能である。
2. 自宅での療養を希望するが、その実現は難しい。
3. 自宅での療養を希望しない。
4. 現在、自宅で療養をしている。

- 自宅療養を希望する※と回答した方は、約65%
- 自宅療養の実現は難しいと回答した方は、約半数

※「自宅療養を希望し、実現可能」と「自宅療養を希望するが、実現は難しい」との合算

自宅療養を希望しない
30.4%

自宅療養を希望し、
実現可能である
16.1%

自宅療養を希望する
が、実現は難しい
48.2%

自宅療養を
希望する※
約65%

(N=1,842)

Q. 自宅での療養が難しい、あるいは自宅での療養を希望しない理由について教えてください。(複数回答)

※医療に関する市民アンケート調査(H28年度実施)

- 家族がいるが、負担をかけたくない(67.7%)
- 経済的な負担がどれほどになるかわからず、不安が大きい(43.3%)
- 療養のための環境が整っていない(39.0%)
- 自宅での療養について、情報が少なく、想像できない(33.8%) など

(N=1,448)

2 考えてみませんか、これからのこと

今日の講演会での話を踏まえて、


長期療養が必要となった場合でも、
「在宅」で過ごすという選択肢がある

自分や家族が長期療養が必要になった時

『どう過ごしたいのか』

ということについて、

元気なうちから考えてみませんか。



あなたは将来
どう過ごしたいですか